

神戸市 教育委員会だより

平成31(2019)年3月発行

発行
教育委員会事務局
総務課 322-5761

平成31年度予算紹介

教育委員会では、第2期教育振興基本計画を推進し、教育大綱で示された7つの方針について一步一步着実に実現するため、平成31年度予算を編成しました。今月号では、平成31年度予算の主なものについて、ご紹介いたします。

【神戸市教育大綱】

1. 学力の向上に取り組めます。
2. 教員の資質向上を図ります。
3. 学校の組織力を強化します。
4. 教員の多忙化対策に取り組めます。
5. 学習の機会均等を確保します。
6. 子供たちが健やかに育つ環境を整備します。
7. 教育に関する科学的な調査研究を進めます。

幼：幼稚園 小：小学校 中：中学校 義：義務教育学校 高：高等学校 特：特別支援学校

児童生徒の学力・体力の向上

学校ICT環境の整備を すすめます

小 中 義 高 特

1億1,911万円

小中学校・高等学校・特別支援学校・工業高等専門学校全ての普通教室に、ICT学習環境（電子黒板機能付プロジェクタ、無線LAN、実物投影機）を整備し、ICTを活用した学習を推進します。

- 平成31年度：小学校80校程度
- 平成33年度：全学校に整備完了

学びを支える環境の整備

学校園の空調整備を すすめます

幼 小 中 特

6億1,552万円

近年の夏の猛暑を受けた熱中症対策として、避難所に指定されている学校施設に空調設備を整備します。また、暫定校舎や幼稚園保育室等の環境改善をはかるため、空調設備の増設等を行います。

- 避難所となる特別教室への空調新設：
小学校85校、中学校35校（各校1室）
- 中学校体育館への空調新設：31校
- 暫定校舎への空調増設：
幼稚園1園、小学校15校、特別支援学校1校
- 幼稚園の保育室への空調整備：9園（全園設置完了）

教員を支え伸ばす学校の組織力の強化

中学校部活動における 外部人材の配置を拡充します

中 義

7,548万円

顧問教員の多忙化解消と持続可能な部活動運営をはかるため、教員に代わって部活動の指導を行う外部顧問および単独で技術指導等を行うことができる外部支援員の配置を拡充します。

- 平成31年度：外部顧問82人
外部支援員164人



※本予算は、市会の議決を経た後に成立します。
※予算額は、平成30年度補正予算を含みます。

お問い合わせ先／総務課経理係 TEL.322-5762



平成31年度 予算紹介

幼：幼稚園 小：小学校 中：中学校
 義：義務教育学校 高：高等学校 特：特別支援学校

児童生徒の学力・体力の向上

学校司書の配置を 拡充します

小 中 3億216万円

学校図書館の環境整備を行い常時開館するとともに、調べ学習等での利活用を進め、児童生徒の豊かな心と読解力や思考力、表現力など確かな学力を育むため、小中学校への学校司書の配置を拡充します。

〔平成31年度：小中学校 150校程度〕

学ぶ力・生きる力向上支援員を 引き続き配置します

小 中 義 5億2,854万円

児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行うため、放課後学習や同室複数指導、少人数指導などを行う「学ぶ力・生きる力向上支援員」を全小中学校に配置します。

いじめ・不登校対策の充実

ネットいじめ・ネット依存等 防止プログラムを実施します

小 義 951万円

インターネット等を通じて行われるいじめやネットトラブルを防止するため、大学・警察等との連携により、小学校中学年の児童・保護者向けに出前授業を実施し、情報モラルについての指導を行います。

また、児童がスマホ利用による被害、弊害の実態を自ら考え、適正な利用につなげるため、「スマホ3カ条」の普及・啓発やネット依存防止に重点をおいた啓発動画を制作・配信するとともに、小学校高学年の児童向けに出前授業を実施します。



「スマホ3カ条」

- 一. スマホだけに時間を使っている？時は金なり（時間管理）
- 一. STOP！危険へのSTEP（危機管理）
- 一. 顔を合わせないことは心を見ないこと（人間関係）

学びを支える環境の整備

学校園のトイレ改修を すすめます

幼 小 中 高 特 23億1,300万円

学校園におけるトイレの環境改善をはかるため、洋式化改修等を行います。

〔平成31年度：幼稚園8園、小学校31校、中学校21校
 高等学校1校、特別支援学校1校〕

学校のエレベーター設置に 取り組みます

小 中 9億1,700万円

エレベーターを必要とする児童生徒の入学予定などの状況を踏まえて、ユニバーサルデザインの推進をはかるため、順次設置を行います。

〔平成31年度：小学校2校、中学校5校〕

学校施設の長寿命化に 取り組みます

小 中 23億3,608万円

機能・性能の向上による教育環境改善をはかるため、長寿命化改良（全面改修）および大規模改修により、学校施設の長寿命化を行います。

〔長寿命化改良：小学校2校
 ・大規模改修：小学校4校、中学校5校〕

学校規模の適正化等に 取り組みます

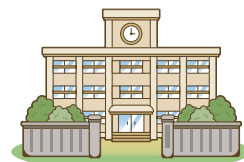
小 中 義 特 25億3,666万円

小規模化が進む小学校については統合を行い、児童生徒の増加に対応するために学校を新設します。また、義務教育学校にて、前期・後期課程の一体型校舎の整備を行います。

学校の過密化対策に 取り組みます

小 中 30億7,503万円

児童生徒数の増加に伴う教室不足等を解消し、教育環境の確保・改善をはかるため、校舎等の増築等を行います。



特別支援学校の 医療的ケア体制を強化します

特 5,252万円

特別支援学校において、医療的ケアを必要とする児童生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、看護師の配置拡充を行います。

- ・看護師の配置：
16名（平成30年度）→17名（平成31年度）

特別支援学校における スクールバスの運行を 拡充します

特 6億2,379万円

特別支援学校の児童生徒数の増加に対応するため、スクールバスの増車（友生支援学校・青陽須磨支援学校）を行います。

- ・運行スクールバス：
33台（平成30年度）→35台（平成31年度）

北神図書館を設置します

3億7,018万円

北神地域の住民サービスを一層充実させるため、北図書館北神分館を「北神図書館」として機能を拡充し、商業施設内に移転します。

- ・場 所：北区藤原台「エコール・リラ」南館4階（神戸電鉄岡場駅前）
- ・規 模：約930㎡ → 約1,320㎡
- ・蔵書数：10万冊 → 12万冊
- ・特 長：入口前に気軽に本と触れ合える「ブックラウンジ」、Wi-Fiが使えるコーナー、セミナー室
- ・オープン日：平成31年4月23日（火）

三宮に予約図書 自動受取機を設置します

6,251万円

新三宮図書館の整備に向け、仮移転先での運営が数年にわたることから、利用者の利便性を確保するため、先行して地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅前に予約図書自動受取機を設置します。

- ・供用開始：平成32年度

博物館の魅力向上に 取り組みます

4億7,387万円

博物館の展示・サービスを充実するため、施設のリニューアルに向けた建築・設備工事、展示制作を行います。また、リニューアルに合わせて、観覧料の高校生以下無料化・大学生特別料金（一般料金の半額）の設定や、常設展の無料化、「コレクション展」の新設を行うほか、夜間開館（ナイトタイムミュージアム）を実施、夜間ライトアップを一新するなど、さまざまな企画を行い博物館の魅力向上をはかります。

- ・リニューアルオープン予定：平成31年11月2日（土）

垂水体育館の再整備を すすめます

6,260万円

便利で快適な市民生活の実現と若年世帯の市内への人口流入促進に向け、垂水駅周辺の環境整備の一環として、老朽化が進む垂水体育館および垂水勤労市民センター体育室を集約し、垂水スポーツガーデン敷地内に新体育館を整備します。

- ・平成31年度：基本設計・実施設計
- ・平成32年度～：建設工事

体育館等の空調を整備します

1,000万円

近年の夏の猛暑を受けた熱中症対策として、避難所に指定されている体育施設に空調設備を整備する。

- ・平成31年度：基本設計・実施設計



より魅力的な学校給食を目指して～平成31年度からの取り組み～

中学校給食が変わります

- 人気メニューや温かい献立の充実
中学生から募集したアイデアメニューを追加していくとともに、小学校での人気メニューも積極的に取り入れるなど、中学生に喜ばれる献立となるよう工夫していきます。また、冬季を中心に汁物やレトルトの温かい給食の提供回数を増やせるよう検討していきます。
- ランチボックスのデザインが変わります
平成31年度途中から中学校給食のランチボックスのデザインが変わります。デザインは「神戸らしさ」について中学生の声を基に作成します。2・3学期から順次導入できるよう準備しています。



神戸の学校給食の魅力を発信します

- 学校給食レシピ本の作成
神戸の学校給食には長年培った子供の成長や食育に必要な知恵がいっぱい！そんな学校給食の魅力をレシピ本でご家庭に伝えます。
- スマートフォン等を活用した情報発信
その日の献立を手軽に確認できるアプリ等の開発を進めています。

（神戸市の学校給食を支える3つのこだわり）

神戸市では、市立小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校に通う児童・生徒の健康的な食生活を支えることを趣旨として、こだわりの学校給食を提供しています。

1. こだわりのおいしさ！良質な食材の調達

学校給食で使用する食品は、安全で良質であることが最優先。食材は基準を満たした安全・良質なものを調達しています。煮物や汁物には、いわしなどの天然の食材からとっただし汁を使っています。

2. 神戸を味わう！地産地消・特産品へのこだわり

「こうべ旬菜」や市内産生鮮野菜、またこれらを使用した加工品を積極的に使用しています。市内産野菜の使用率は19.8%（H29、重量ベース）、特に米は100%神戸市産のものを使用しています。地元神戸の食材をたくさん使用した「神戸特産ランチ」や、兵庫の郷土料理を取り入れています。

3. 食を学ぶ！「生きた教材」としての給食

多様な食材を使い、主食・主菜・副菜の整った栄養バランスのとれた献立で子供たちに必要な栄養量を確保し、健康な体づくりを目指しています。行事献立・日本各地の郷土料理・外国の料理を通じて、さまざまな食文化を伝えています。

★神戸の学校給食では、オリジナル加工食品（神戸たまねぎミンチカツや神戸ぶどうゼリーなど）などにより、さまざまなメニューの提供があります。



神戸市学校給食のレシピを、クックパッドで公開中！
ブログもぜひご確認ください。



お問い合わせ先／健康教育課 TEL.322-6451

教育委員会に関するご意見・ご感想がございましたら、
お問い合わせフォーム(教育委員会だよりの公開ホームページ下部)
またはFAX(078-322-6145)によりご連絡ください。

神戸市教育委員会だよりの公開HPは **神戸市教委だより**

